

第5号
発行所 茅ヶ崎の浜辺(中海岸地区)
マヰり協議会事務局
神奈川県
湘南なぎさ事務所 海岸砂防課
茅ヶ崎市汐見台1-7
Tel:0467-58-1473

平成12年
12月16日

浜風 通信

第3回協議会・近藤委員長による講演会開催!!

いよいよ冬も本番を迎えた平成十二年十一月十九日(日)茅ヶ崎市役所分庁舎の5階D会議室において 第三回茅ヶ崎の浜辺(中海岸地区)マヰり協議会が開催されました。

今回の協議会においては近藤委員長による三十分程度の講演会が同時開催されました。

講演会では海岸における環境関連の整備(環境音楽など)についてのお話や 日本大学の学生さんによる提案を数案紹介していただきました。

その後 第三回協議会の資料説明 そして委員の方々による活発な意見交換を行いました。

- 第3回協議会
平成12年11月28日(日)
(13:30~16:30)
1. 開会
 2. 委員紹介と挨拶
 3. 近藤委員長資料説明
 4. 協議会資料説明(休憩)
 5. 意見交換
 6. 閉会

図一① 第3回協議会スケジュール

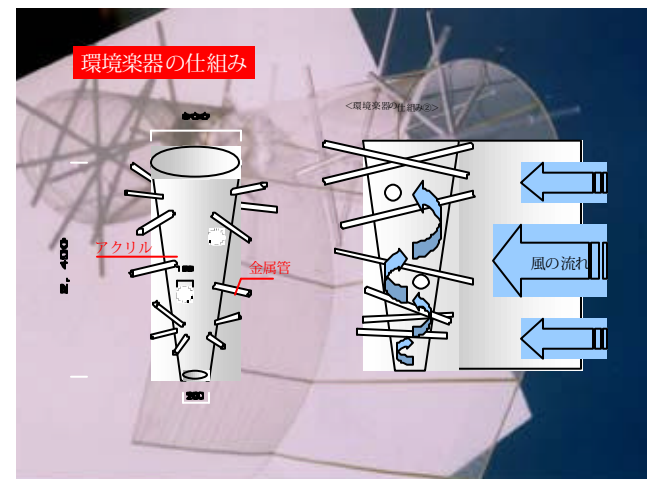
◇近藤委員長による講演会

第三回協議会の際に 近藤委員長の講演会(約三十分)を開催しました。

近藤委員長の講演会では 茅ヶ崎の海岸整備の際に 海岸環境の向上という視点から有用と考えられる環境楽器について紹介をいただきました。

図一②は 日本大学の学生さんのグループによる環境楽器の提案です 海岸の風と人工的な素材(アクリルなど)を利用して 海岸の自然の音を奏でる楽器です 孔が多数あいた図のようなアクリルに 球が入っており 海辺の風が孔から入ることで 球が動き 音が奏でられるという仕組みになっています 風の強さによっても音色は異なると考えられますので 風の強弱による音色の変化によって 海辺のさまざまな表情が表われます。

環境楽器とは 海の素材を用いて 自然を音として表現するものです それにより 人々の海に対する意識が高揚し 積極的な海との交流が生まれることが期待できます 例えば茅ヶ崎の浜辺づくりにおいて環境楽器を導入することで 中海岸のシンボリックな存在になる可能性が高く さらに 海岸環境の向上につながると思われます。 茅ヶ崎の浜辺づくりにおいては大変参考になる提案のご紹介でした。



図一② 環境楽器の仕組み(提案)

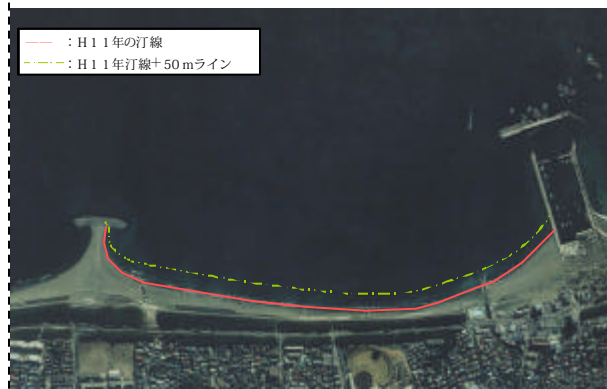
◇議題(資料内容)

第三回協議会の議題として 次のような項目について資料中に整理しました。

①人工海浜について
人工海浜による整備効果を把握するため 新潟県新潟港西海岸や茨城県大洗港 海岸などの人工海浜事例を挙げました。人工海浜における人々の満足度に関わる要因として 氷質・波浪条件・底質・海底勾配や水温などについて整理しました。

人工海浜の基礎施設による必要面積や海浜の管理面について整理しました。

②中海岸の汀線変化イメージ図(図一③)
中海岸の汀線について 二十年前進した場合 五十 前進した場合 百 前進した場合のイメージを表しました これにより委員の方々には砂浜幅の増加規模による整備効果イメージが明確になりました。



図一③ 50m前進した汀線イメージ

③海岸保全施設の提案

海岸保全施設の提案として ヘッドランド レンズ礁 離岸堤 人工リーフなどを 組合せたものも含めて6パターン提案しました 各提案ごとに 特徴や利用面での効果などを整理しました 委員の方々からは 各個人の立場による様々な意見が抽出されました。

◇委員の皆さんのご意見

上記に示す資料内容を踏まえて 委員の方々には約七十分程度討議を行いました 海岸保全施設についての意見が多く これは施設配置により安全面や利用面にも影響があるため保全施設に関心が高まっていると思われました。

《海岸保全施設についての意見》

人工リーフの配置は 沖に配置し大きな波を碎波する方が 効率的で利用面も安全が確保されるのではないかと。沖に配置することは可能だが 水深が深くなれば材料費もかかるため 効果的と思われる設置箇所を検討する必要があります。

人工リーフを水没化することによって利用目的により被害が発生するのではないかと。沖合いに配置し 海水浴者が立ち上

《安全 防災対策についての意見》

侵食傾向により 国道134号線まで影響が及ぶ可能性が高いことに十分焦点を当てるべきである。

危険の起こりうる部分の管理や利用についてシステムや組織を提案した方が良い。

レンズ礁などにより 流れが強い所など危険箇所が増え ライフセーバーなどに負担がかかってしまう。

《その他の提案》

セメント製造業から生産される残土は安価であり 有効に活用出来る。

サンドバイパスなど 堆積した箇所の砂を運ぶのはどうだろうか。

一番自然的で良い工法だが 運ぶ途中の工法が難しく 維持管理費の問題もある。

汀線の前進イメージについての意見
汀線のイメージは建設コストに関わってくるが 五十程度の増幅が良いの



写真一 第3回協議会の様子

第4回協議会 開催!!

年末の押し迫る平成十二年十二月九日(土)茅ヶ崎市役所分庁舎において第4回茅ヶ崎の浜辺(中海岸地区)づくり協議会が開催されました。(函一④)

寒い中協議会委員は十三名出席し活発な意見交換が繰り広げられました。

前回(第3回)の協議会では海岸保全施設の提案が出されたため今回(第4回)の協議会ではより具体的な保全施設の検討に入っていました。

- 第4回協議会
平成12年12月9日(土)
(3:30~16:30)
1. 開会
 2. 委員紹介と挨拶
 3. 資料説明(休憩)
 4. 意見交換
 5. 協議総括
 6. 事例調査について
 7. 閉会

図-④ 第4回協議会スケジュール

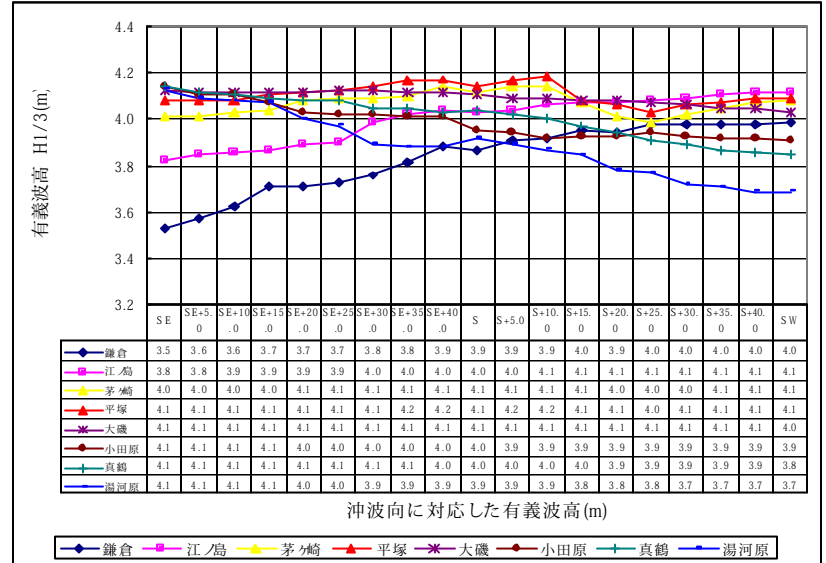


図-⑤ 相模湾沿岸の各地点における水深5mでの有義波高

◇議題(資料内容)

これまでの討議を踏まえて第4回の協議会は、次に示すような議題内容となりました。

茅ヶ崎海岸の海象条件を再度確認しなおし、海岸保全施設の検討を行いました。

①茅ヶ崎の海象条件

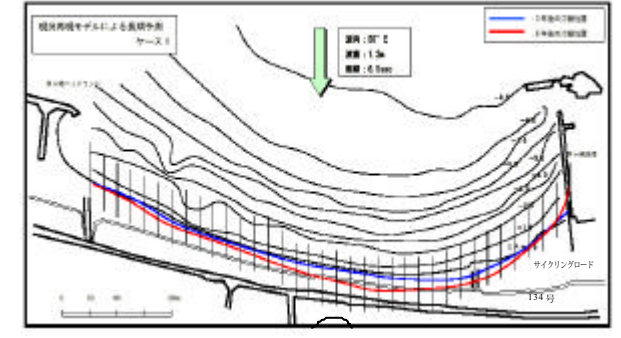
茅ヶ崎の海象状況として、波浪特性(波向き、波高など)の把握を行いました。茅ヶ崎海岸に襲来する波浪(換算沖波)に対して相模湾沿岸の他の海岸との比較を行いました。(函一⑤)

茅ヶ崎の海岸は、全般的に波高が高く、周辺の海岸と比べても強い波浪が来襲している海岸であることがわかりました。

②保全施設の配置検討

海岸保全施設の提案において、保全方法ごと(ヘッドランド、レンズ礁、人工リーフ、離岸堤)に汀線変化の傾向は異なります。

現状のまま何も対策を講じない場合は、下図に示すように汀線が変化



【ヘッドランド】

海岸保全対策として堆砂を目的とした施設であるので、保全機能の点から、横堤の延長や沖出し距離等についての検討が必要となります。また安全面に配慮し、人の吸い込み防止が重要です。(函一⑥)

汀線変化の特徴

ヘッドランドは、施設間の距離によって堆砂効果が異なります。施設間の距離が離れすぎたり狭すぎたりすると効果が弱まり、侵食作用を受けてしまいます。(函一⑥)

【レンズ礁】

レンズ礁は、下図に示すように、水域に突出した構造物です。水面下で緩やかな勾配で広がる形状であるため、漁業活動への影響の軽減が期待できます。



汀線変化の特徴

現在最も侵食が激しい野球場前面に設置することにより、中央部付近での汀線前進とヘッドランド付近、漁港付近で汀線維持効果が期待できます。(函一⑧)

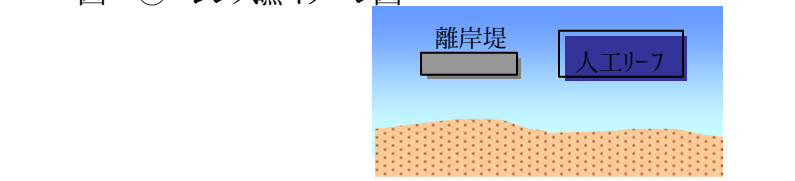
【人工リーフ+離岸堤】

人工リーフは水没型であるため、景観への影響は殆どありませんが、離岸堤はコンクリートの消波ブロック



汀線変化の特徴

人工リーフと離岸堤を組み合わせることに、中海岸全域において、偏ることなく汀線を維持することが出来ます。(函一⑨)



写真一 第4回協議会の様子

第5号
発行所:茅ヶ崎の浜辺(中海岸地区)づくり協議会事務局
神奈川県 湘南なぎさ事務所 海岸砂防課
茅ヶ崎市汐見台1-7 Te10467-58-1473

《安全面についての意見》

危険箇所を海域利用者に対して強く認知させるような方法が必要である。

構造物を最小限に抑えたいが人工リーフなど水没型の構造物では視覚的に危険性を認知できないため危険である。

ヘッドランドを数基配置すると危険箇所が増してしまい安全性が欠如するのではないか。

《中海岸イメージについての意見》

茅ヶ崎の海岸は、何もないイメージという方がよいのではないかと。利用面についても、自然の素材を活かした整備にして、茅ヶ崎固有の利用方法を提案したい。

《保全方針についての意見》

レンズ礁は、漁業に影響はないため、漁業の利用面では問題がない。

レンズ礁は、前面の海の景観が確保でき、海との繋がりを保つことが可能であるため、良いのではないかと。

レンズ礁は、養浜効果や危険性、曳網などの関係から考えると良い。養浜の際、粒径や比重などについて動きにくい砂を検討し、投入した方が良い。

あまりお金をかけずに、コンクリートで固めたような砂を守るだけの施設が良い。

《安全面についての意見》

危険箇所を海域利用者に対して強く認知させるような方法が必要である。

構造物を最小限に抑えたいが人工リーフなど水没型の構造物では視覚的に危険性を認知できないため危険である。

ヘッドランドを数基配置すると危険箇所が増してしまい安全性が欠如するのではないか。

《中海岸イメージについての意見》

茅ヶ崎の海岸は、何もないイメージという方がよいのではないかと。利用面についても、自然の素材を活かした整備にして、茅ヶ崎固有の利用方法を提案したい。